

4) 会費未納ブロックについて  
 執行部から、長期滞納分について見切りをつけ納付し易くする案が提起され、議論を尽くした結果、引き続きその状況に応じた請求を続けていくことにした。甲信越、東海北陸この2件につきましては、未だにその目処が立っていない。これについては、前期より、各県毎に負担金を割った金額を提示し、それぞれご了解をいただき、すぐさま取り組んでいただきました。例えば、長野県、福井県、この2県からは納付がございました。会費未納の件につきましては、今後とも執行部として極力努力してまいります。

5) 役員改選について : 水島秀夫幹事長  
 規約第11条、第26条 細則により推挙委員会を別室にて開催

①推挙委員会の委員と推挙について  
 水島幹事長より推挙委員会の委員紹介。  
 推挙委員：福地 白（北海道）、吉田 勇夫（東北）  
 小笠原健一（北関東）阿部 雄三（総務担当副会長）、  
 水島 秀夫（南関東）、 以上5名

②会長、監査の推挙と認否  
 水島秀夫推挙委員より次の通り会長、監査を推挙する旨報告がありこれを承認した。  
 会 長 田 英夫 監 査 三上 一（東北）  
 榎本 建司（北関東）丸山 恭一（群馬県）

③役員・名誉役員は別表の通り。  
 なお、各都道府県で総会の時期が異なるため未選任のところがあるが、第14条2項「役員はその任期満了後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を行う。」を適用。  
 以上、1) 項から5) 項の提案事項について一同承認。

6) その他 : 水島秀夫幹事長  
 (1) 北海道より、提案事項2件あり：福地白常任幹事  
 ①日本スキー指導者協会の法人化に向けての検討について  
 ②会報インストラクターの編集項目について  
 以上の提案について承認された。  
 (2) 会報21号の企画内容について  
 水島秀夫幹事長より、北海道からの提案を盛り込んだ企画内容を案内した。

9. 書記解任  
 10. 議長解任  
 11. 閉会の辞 綱川千夫副会長  
 以上の議事録を証するため下記に署名する

平成17年8月24日  
 議 長 近藤 晃 印  
 議事録署名人 吉田 勇夫 印  
 議事録署名人 廣岡 和夫 印

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成18年度 総 会 議 事 録

日 時 平成17年8月7日(日)13:00~14:30  
 場 所 チサンホテル浜松町 東京都港区芝浦1-3-10  
 出席者 (名簿順敬称略)

菅 秀文 林 権一 片岡 春夫  
 坂井 敏夫 近藤 晃 半沢 進  
 綱川 千夫 阿部 雄三 大澤 佑吉  
 杉崎壽三男 福地 白 吉田 勇夫  
 廣岡 和夫 小笠原健一 長澤 光雄  
 山崎 一正 水島 秀夫 喜澤 一史  
 鈴木 勘重 大熊 忠男 荻野 恒夫  
 榎本 建司 渡辺 忍

委 任 田 英夫 宮沢 一英 古賀 澄夫 三上 一  
 飯田 誠一 丸山 恭一 林 茂美 古藤 公昭  
 小林 賢 岸田 栄吉  
 事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 島村 一男  
 定足数報告 水島秀夫幹事長より、本会規約第20条により総会が成立していることを報告。

1. 開会の辞 坂井敏夫副会長  
 2. 会長挨拶 田英夫会長代行阿部雄三副会長  
 8月2日幹事長と共に事務所の方にあがりまして、本日の総会議題また運営等につきましては全てご報告申し上げております。国会の都合で欠席されますことについて、皆さまにくれぐれもお詫びとお礼を申し上げるよう申しつかってまいりました。

会長からメッセージがFAXで届いておりますので代読いたします。「平成18年度日本スキー指導者協会総会にご出席の皆さんにご挨拶申し上げます。本日は国会日程等より欠席をしますこととお許し下さい。これから皆さんと一緒に協会を盛り上げ、スキー界を活性化していくために頑張りましょう。」

日本スキー指導者協会 会長 田 英夫

今期の運営につきましては、会員皆さまのご協力は申し上げますまでもなく、ご協賛いただいております各社のご支援によりましてすべからく予定通り実施いたしました。ここに総会をもって平成17年度のご報告また、新年度の運営等につきましてご審議をいただくわけですが、来る新年度は私ども有資格者の組織としてなにをなすべきか、これは、すべからくスキー界活性化に向かって運営することは申し上げるまでもありません。

景気の状況なども、日に日に景気がよくなりつつあるというのが内閣府の近況でありますけど、果たしてその波がこのシーズンにいい状態で寄せてくるのか、そういうことを願いながら我々新年度に向かって運営に入ります。

今年は、丁度役員改選の年度でもありました。新役員については、後ほどご紹介申し上げ、一緒に運営に携わっていただくようになります。なにはともあれ、皆さんのご協力なくして、我々日本スキー指導者協会の運営は出来ません。忌憚のないご意見をいただき、皆さんの意に沿うべく運営に努力して参りたいと思っております。大変簡単ではありますが、田会長に代わりましてごあいさつをさせていただきます。

3. 議長選出 坂井敏夫副会長  
 4. 書記指名 水島三千夫、島村一男両事務局員を指名  
 5. 議事録署名人 廣岡和夫常任幹事、長澤光雄常任幹事  
 6. 議事運営の確認 坂井敏夫議長  
 7. 平成17年度概況報告

1) 一般報告(会議、事業別)：水島秀夫幹事長  
 別刷総会資料にて報告。  
 2) SAJ報告  
 : 杉崎壽三男特別幹事(SAJ教育本部理事)  
 報告内容は以下の通り。  
 (1) 期半ばにして堤会長から伊藤会長に新しくバトンタッチされた。  
 (2) (財)全日本スキー連盟80周年記念式典が6/26赤坂プリンスに於いて盛大に開催された。  
 (3) 来年度のオリンピックに向けて選手強化と役員構成等に追われている、是非良い成績を残したい。  
 (4) 全日本スキー指導者協会に直接関係する教育本部の事項について  
 ①指導員検定制度が改定されて3年目を迎える、単位制にしたのは受検し易くしたもので3回受ければ受かるというものではないことを強調。  
 ②スキー大学は大変好評で、来年度は北海道と長野県で開催、デモについても大勢の方に応援を願っている。  
 ③シャープ冠の技術選は観衆が多く関心の高い大会になっている。来期は会場を八方から苗場に移して行う。

## INSTRUCTOR No.21

- ④今年度は国際会議年で、IVSS、IVSI等がドイツ、オーストリーで行われた。日本から大勢の役員、視察団が参加した。
- ⑤次年度に向けて主な行事計画
- ・指導員検定会5会場が既に決まった。A級検定員検定会も同じ会場で行う。
  - ・スキー大学北海道と長野県で行う予定を組んでいる。
  - ・11月に行われていた中央研修会を雪のある4月に変えた。大いに滑り、シーズン中の反省をしたりして次年度につなげる計画を練ることとした。
- 3) 会議、事業及び本部会計収支決算報告  
：藤木昇事務局長  
別刷総会資料にて報告。  
以上の報告事項について、特に質疑はなく承認された。
- 4) 監査報告 : 渡辺忍監査  
特に監査の立場から次の様な要望事項が付け加えられた。
- (1) 会費未納県への対応について、今後更に努力していただきたい。  
特に長期滞納県については、日本スキー指導者協会から乖離していかないよう、会費を納入しやすい状況を作り出していくということも含めて、鋭意検討していただきたい。
- (2) 日本スキー指導者協会に会員として入っていることのメリットというものを、今後の事業運営の中で再検討していただきたい。(例えば、開催会場を持ち回りにする等)  
以上の監査報告事項について承認。
8. 議 事
- 1) 平成18年度 事業計画(案)及び収支予算(案)  
：大澤佑吉副会長  
別刷総会資料にて報告。
- 2) 平成18年度 本部会計予算(案)  
：水島秀夫幹事長  
別刷総会資料にて報告。
- 3) 西日本ブロック退会について  
：阿部雄三副会長  
6月14日付 副会長吉田晃一郎氏の文書で西日本ブロックより脱会の意向が伝えられた。  
阿部副会長よりその後の経緯が報告された。今後の取り組みについては、この総会では退会についての決定はしないで、皆さんともども全国の組織としてことを成したい。という第1回常任幹事会での決議を報告し、西日本ブロックには引き続き働きかけていくこととした。  
補足/菅秀文名誉顧問  
6月26日SAJ80周年記念式典に、私と片岡春夫顧問とで出席して西日本ブロックの会長吉田晃一郎氏と会いました。その後、懇親会の中で九州、四国、山陰、他7名の方に個々に会いました。  
その結果、いろいろな問題や要望が見えてまいりましたので、この点については執行部に検討をお願いしました。  
また、私の感触では、それほど脱退という強いものではなく、退会ですからもう少し話し合いを持ってはどうか、こういうふうになっております。
- 4) 会費未納ブロックについて：阿部雄三副会長  
監査報告で、引き続きその状況に応じた請求を続けていくようにという要望もございました。これについて

は、前期より、各県毎に負担金を割った金額を提示しまして、それぞれご了解をいただき、すぐさま取り組んでいただきました。例えば、長野県、福井県、この2県がでございます。未納の件につきましては、今後、執行部として極力努力してまいります。

- 5) 役員改選について : 水島秀夫幹事長  
規約第11条、第26条 細則により、出席ブロックから推挙委員各1名を選出し開催した。  
推挙委員：福地 白(北海道)、吉田 勇夫(東北)、小笠原健一(北関東)阿部 雄三(総務担当副会長)、水島 秀夫(南関東) 以上5名

①会長、監査の推挙と認否  
水島秀夫推挙委員より次の通り会長、監査を推挙する旨報告がありこれを承認した。

会 長 田 英夫  
監 査 三上 一(東北) 榎本 建司(北関東)  
丸山 恭一(群馬県)

②役員・名誉役員は別表の通り。

なお、各都道府県で総会の時期が異なるため未選任のところがあるが、第14条2項「役員はその任期満了後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を行う。」を適用。

以上について一括承認された。

6) その他

- (1) 北海道より、提案事項2件あり  
①日本スキー指導者協会法人化に向けての検討について  
②会報インストラクターの編集項目について  
以上の提案について承認された。
- (2) 会報21号の企画内容について  
水島秀夫幹事長より、北海道からの提案を盛り込んだ企画内容を案内した。

今期物故者のご冥福をお祈りし黙禱

<本会に多大の貢献をなされた>

栗林 薫 名誉顧問(平成17年1月9日没94歳)  
丹内 正一 顧問(平成17年3月16日没93歳)

<本会設立時に多大な貢献を頂いた>

柳澤須佐男氏(平成17年4月4日没93歳)

9. 書記解任

10. 議長解任

11. 閉会の辞 近藤晃副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する。

平成17年8月24日

議 長 坂 井 敏 夫 印

議事録署名人 廣 岡 和 夫 印

議事録署名人 長 澤 光 雄 印